

2年次で「文化芸術体験出前講座」を実施しました。

◆今回の記事は、2年次主任の大村先生が書いてくれました。

6月19日（月）5・6時間目、2年次では、総合実践室で「文化芸術体験出前講座」を実施しました。これは、「いばらき文化振興財団」でサポートしていただいている事業で、邦楽器である「尺八、箏、三味線」の演奏会でした。

講師として、樋口景山先生、樋口雅礼瑤先生、長谷川雅楽柚先生、長谷川昭先生の4名がいらっしゃいました。樋口景山先生は日本武道館で行われた郷土民謡民舞全国大会尺八グランプリの部で優勝された先生です。

箏や尺八、三味線の説明や歴史、邦楽家の説明とともに、「六段の調べ」、「春の海」、「もののけ姫」、「やさしさに包まれたなら」などの演奏を聴きました。分かりやすい邦楽の説明を聞いたり、美しい音色の演奏を聴いたりすることができました。また、箏や尺八の楽譜を実際に見て演奏しやすいように工夫されていることに驚いたり、邦楽器でジブリの曲などを演奏していることに感心したりと、邦楽器の奏でる音の美しさに魅了される時間となりました。

今回、「ワークショップ」が大変盛り上がりしました。クラスの代表者が箏で「さくらさくら」を練習したあと、講師の先生と一緒に演奏をしました。思いの外、上手くできて楽しかったという感想を持った中等生が多かったです。

尺八の体験では、12名の生徒や先生方が挑戦したのですが、音を出すことがとても難しく、きれいに音が出た人は数名しかいませんでした。体験者は尺八演奏の難しさや奥深さを感じたようです。

グローバル化が進む今、将来、海外で活躍する人も多くいるでしょう。そして、世界から日本を見つめ、海外の人に「日本文化」について話す機会もあると思います。そのためにも、今、日本に住む私たちがこのような出前講座を通して、「日本の伝統文化」を知り、邦楽の魅力に気づき、「誇りをもって日本文化を語るこゝろの人」になってほしいと思っています。

